

令和3年度科学研究費助成事業「新学術領域研究（研究領域提案型）」に係る中間評価結果

領域番号	8101	領域略称名	高速分子動画
研究領域名	高速分子動画法によるタンパク質非平衡状態構造解析と分子制御への応用		
領域代表者名 (所属等)	岩田 想 京都大学・医学研究科・教授		

(評価結果)

A+ (研究領域の設定目的に照らして、期待以上の進展が認められる)

(評価結果の所見)

研究領域の設定目標に向かい、それぞれの計画研究では、関連する分野に大きなインパクトを与える成果がトップジャーナルに掲載されるなど優れた研究業績を上げており、高く評価できる。領域全体としても、高速分子動画を撮影するだけでなく、そこから得られる知見を活用し、新たな機能性タンパク質の創出や、タンパク質の機能を制御する化合物の開発といった明確なビジョンを持って運営されており、今後の更なる進展が期待される。特に、計算科学との融合により領域全体が一層発展することを期待する。

今後の方向性として掲げている、高速分子動画から得られる知見に立脚した、光機能性タンパク質の創生や、光によりタンパク質の機能を制御する化合物の創製に関しては、具体的な研究戦略、作製する化合物、目指す機能などを明確化し、これまで以上の進展を期待したい。